

公立保育所の今後の方向性について

本市では、「教育・保育提供区域」ごとに、公立保育所を「基幹保育所」（藤沢、辻堂、善行・善行乳児、しぶやがはら）、「地域保育所」（鵜沼、藤が岡、浜見、湘南台、高山、またの）、及び「その他保育所」（明治、小糸）の区分に分類し、それぞれの役割や機能を整理しています。

このうち、地域の保育需給が整った段階で閉園を検討することとしている「その他保育所」を含め、公立保育所について、直近の状況を踏まえた今後の方向性について報告するものです。

1 少子化の進行と待機児童の状況

令和 8 年 4 月 1 日における就学前児童数は、前年から 1, 090 人減少し、少子化が顕著に進行しています。これに伴い、認可保育施設の入所申込児童数も前年を下回る結果となりました。

一方、待機児童の解消に向けた取組として、令和 8 年 4 月には認可保育所 3 施設が新設され、また既存幼稚園 3 施設が認定こども園へ移行したことにより、198 人の定員拡大を図りました。

さらに、宿舍借上補助や保育士試験対策講座などの保育士確保策を推進した結果、市内施設で働く保育士が増加し、令和 8 年 4 月時点の待機児童数は、前年の 17 人から 7 人へと減少しました。

今後も、児童数の推移や保育ニーズを注視し続けていきますが、保育を取り巻く環境は大きな転換期を迎えており、急速な少子化に伴い施設の経営が困難となり、運営事業者が早期に撤退するリスクが高い状況です。

2 施設の老朽化と財政負担の課題

再整備未実施の公立保育所（藤沢、明治、湘南台、高山、またの、小糸）はいずれも築 50 年前後となっており、内外壁・床等だけでなく、給排水管等のインフラ部分でも老朽化が深刻です。

また、保育所の整備や施設運営（1 園当たり年間 2～4 億円）については、法人立保育所であれば国や県の費用負担がありますが、公立保育所については、市が単独で財源を賄う必要があり、将来にわたる財政上の大きな課題となっています。

＜公立保育所の状況＞

No.	地区	施設名	建築等年月日	築年数	区分	備考
1	東南	藤沢保育園	1967年(昭和42年)3月31日	59年	基幹保育所	
2	西南	辻堂保育園	2019年(令和元年)9月24日	6年	基幹保育所	
3	東南	鵜沼保育園	2024年(令和6年)10月31日	1年	地域保育所	
4	東南	藤が岡保育園	2021年(令和3年)3月31日	5年	地域保育所	
5	中部	善行保育園	1966年(昭和41年)4月18日	59年	基幹保育所	再整備中
6	西南	明治保育園	1968年(昭和43年)4月8日	57年	その他保育所	
7	西南	浜見保育園	2022年(令和4年)3月8日	4年	地域保育所	
8	北部	湘南台保育園	1973年(昭和48年)3月28日	53年	地域保育所	
9	中部	善行乳児保育園	1974年(昭和49年)3月30日	52年	基幹保育所	再整備中
10	北部	しぶやがはら保育園	2016年(平成28年)3月31日	10年	基幹保育所	
11	西南	高山保育園	1979年(昭和54年)3月31日	47年	地域保育所	
12	中部	またの保育園	1980年(昭和55年)3月31日	46年	地域保育所	
13	中部	小糸保育園	1982年(昭和57年)3月31日	44年	その他保育所	

3 公立保育所の今後の方向性

「基幹保育所」及び「地域保育所」については、地域における子育て支援の充実や地域全体の保育の質の確保、病児保育、医療的ケア児の対応などを含めた調整役としての役割を引き続き担っていくため、今後、施設整備を行う必要がありますが、児童数の著しい減少等を踏まえ、地域における持続可能な保育所運営の実現に向けて、さまざまな選択肢を視野に検討を進めます。

また、「その他保育所」の明治保育園及び小糸保育園については、地域の保育需給が整った段階で閉園することとしており、次のとおり検討を進めます。

(1) 明治保育園

ア 今後の対応

明治地区は、施設新設・整備等により、令和8年4月時点で、前年比110人分定員が拡大しました。一方で入所申込者は減少傾向で、同年4月時点で、前年比23人減少しました。

こうしたことから、明治保育園の閉園後においても、地区内の各施設が、その受け皿となることが見込まれるため、令和14年3月末日をもって閉園とします。

なお、閉園にあたっては、現在通園している児童が、そのまま明治保育園で卒園を迎えられるよう、令和9年度から、毎年度、1学年ずつ順次受入れを停止する手法により進めることとします。また、0歳児の受入れを停止する令和9年度

は、最終年度に5歳児クラスの児童数が少なくなならないよう、1歳児クラスの定員拡大を検討します。

＜スケジュール＞

令和 8年9月 9月市議会定例会に報告

令和 9年4月 0歳児クラスの受入停止、1歳児クラスの定員拡大

令和10年4月 0～1歳児クラスの受入停止

令和11年4月 0～2歳児クラスの受入停止

令和12年4月 0～3歳児クラスの受入停止

令和13年4月 0～4歳児クラスの受入停止

令和14年3月 閉園予定

イ 入所児童数と定員（令和8年4月1日時点）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
入所	1	9	13	17	16	11	67
定員	6	10	12	17	22	23	90

ウ 明治地区の待機児童数と保留児童数（令和8年4月1日時点）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
待機	0	1	0	0	0	0	1
保留	0	10	1	1	0	0	12

（2）小糸保育園

ア 今後の対応

小糸保育園の閉園時期については、湘南大庭地区の保育需給を慎重に見極め、引き続き検討することとします。

イ 入所児童数と定員（令和8年4月1日時点）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
入所	3	16	19	19	22	23	102
定員	9	15	18	20	28	30	120

ウ 湘南大庭地区の待機児童数と保留児童数（令和8年4月1日時点）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
待機	0	1	1	0	0	0	2
保留	2	18	4	2	1	1	28

以上

（子ども青少年部 子ども総務課・保育課）